

魅力的なまちづくり 特集

第1回 地方創生 EXPO

会期: 2018年2月21日[水]~2月23日[金] 10:00~18:00 (最終日のみ17:00終了)

主催: リード エグジビション ジャパン(株) 会場: 幕張メッセ

リード エグジビション ジャパン(株)は2月21日(水)から23日(金)までの3日間、幕張メッセにて「地方創生EXPO」を開催。人口減少による地方都市への影響は深刻で、産業の減退、空き家・空き店舗の増加によるゴースタウン化・スラム化などに苦しむ都市は増えていくと予想されており、移住を促進する重要なテーマとして、魅力的なまちづくりへの関心が高まっています。本展では、健康推進・子育て支援・災害対策・自治体向けITソリューションなど、あらゆる住民ニーズに応える製品・サービスが多数出品。その中からほんの一部をご紹介します。ぜひご取材ください！

※本展示会の取材には、事前の取材申込が必須となります。申込みフォームよりお手続きください。



図書館を活用した地域づくり！？

図書館をただ本を貸す施設、本好きだけが行く場所だと決めつけていませんか？図書館は金食い虫の事業仕分け対象の施設だと思っ
ていませんか？図書館は指定管理に出して予算削減すれば良いと思
ってませんか？図書館には地方創生の起爆剤になったり、
ソーシャルイノベーションを巻き起こす多種多様な種と可能性が眠っ
ています。図書館と地域をむすぶ協議会が全国で展開する豊富な
実践例の紹介と具体的なヒントを提供。

(図書館と地域をむすぶ協議会)

「いきがい創造」×「健康創造」

地域のコミュニティの拠点創造事業

「健康」、「就労支援」、「介護」、「学び」をテーマとしたアイテムの組み合わせで、遊休施設をコミュニティの拠点として再生し、住民の生きがいを創造するとともに、地域の課題を解決。

高齢者の介護予防

過去の受託実績 275自治体 3925教室！介護予防・認知機能低下予防・地域のサポーター養成などを通じて、高齢者の健康増進と生きがい創造をサポート。

子ども発育・発達支援プログラム

子どもたちの体力・運動能力を伸ばしながら、心身両面の発育・発達を支援する体制を街ぐるみで構築。また、地域の雇用も生み出すことのできる子育て支援プログラム。

(株式会社 ルネサンス)



※出展社数、来場者数、国数、および製品数は、2017年10月18日時点での共同出展社を含めた最終見込み数字であり、開催時には増減の可能性があります。
※同種展示会との出展者数および製品展示面積の比較。※同時開催展の製品含む。
※出展商品は変更になる可能性があります。※写真は一部、出展社ホームページよりお借りしています。

取材のお申込みはこちら <http://www.sousei-expo.jp/shuzai/>

大規模災害時の備えに！

災害対応型自動販売機

災害自販機とは、「災害対応自販機」「災害対応ベンダー」とも呼ばれ、地震などの災害発生時に、自販機の中の飲料を、被災者へ無償で提供する自販機です。

災害自販機は、外部からの電源を使わずに飲料を取り出せる仕組みが備えられており、緊急時の救命活動の一端として、多くの飲料メーカーで設置が進められています。これは、災害時には、「自販機を非常用飲料の備蓄庫」とする、新たな試みですが、多くの自治体等から、災害に備えた飲料水保管の負担が軽減される活動と期待されています。



(株式会社 ライズアップ)



自治体向けソリューション！

ふるさと納税支援事業

地域情報を収集・編集して発信する運営体制を活かして、特産品の開拓や生産者インタビューなどのコンテンツを制作。地域の情報を継続的に発信することで、ふるさと納税による地域のプロモーションを行います。また、寄付者との連絡や返礼品の発送管理などの業務代行によって、自治体職員の負担を軽減。

(株式会社 フューチャーリンクネットワーク)

取材のお申込みは [下記URLから](http://www.sousei-expo.jp/shuzai/) または **取材申込書をFAXしてください**
<http://www.sousei-expo.jp/shuzai/>

※本展の取材は事前登録が必要です。

※取材のお申込は、「報道」「記事掲載」などの取材を目的とした方のみご登録いただいております。

※事前のご登録が無い場合や、またご登録いただいても取材目的ではないご来場の場合、

また報道活動が認められないと主催者が判断した場合(個人ブログ・SNS等、極めて限定的な発信を含む)は当日プレス受付をお断りする可能性がございます。あらかじめご了承ください。

■取材申込書 返信先 >> FAX 03-3344-2400

貴社名：	媒体名：
所属・役職：	お名前：
E-mail：	
TEL：	FAX：

※今後このようなFAXが不要の方はお手数ですが、下の□にチェックをし、そのままFAX:03-3344-2400宛にご返信ください。
□今後のFAX配信を停止してください。 □今後E-mailでの配信にしてください。(E-mail:)